

2019年11月20日

# 大阪/別府航路 新造船

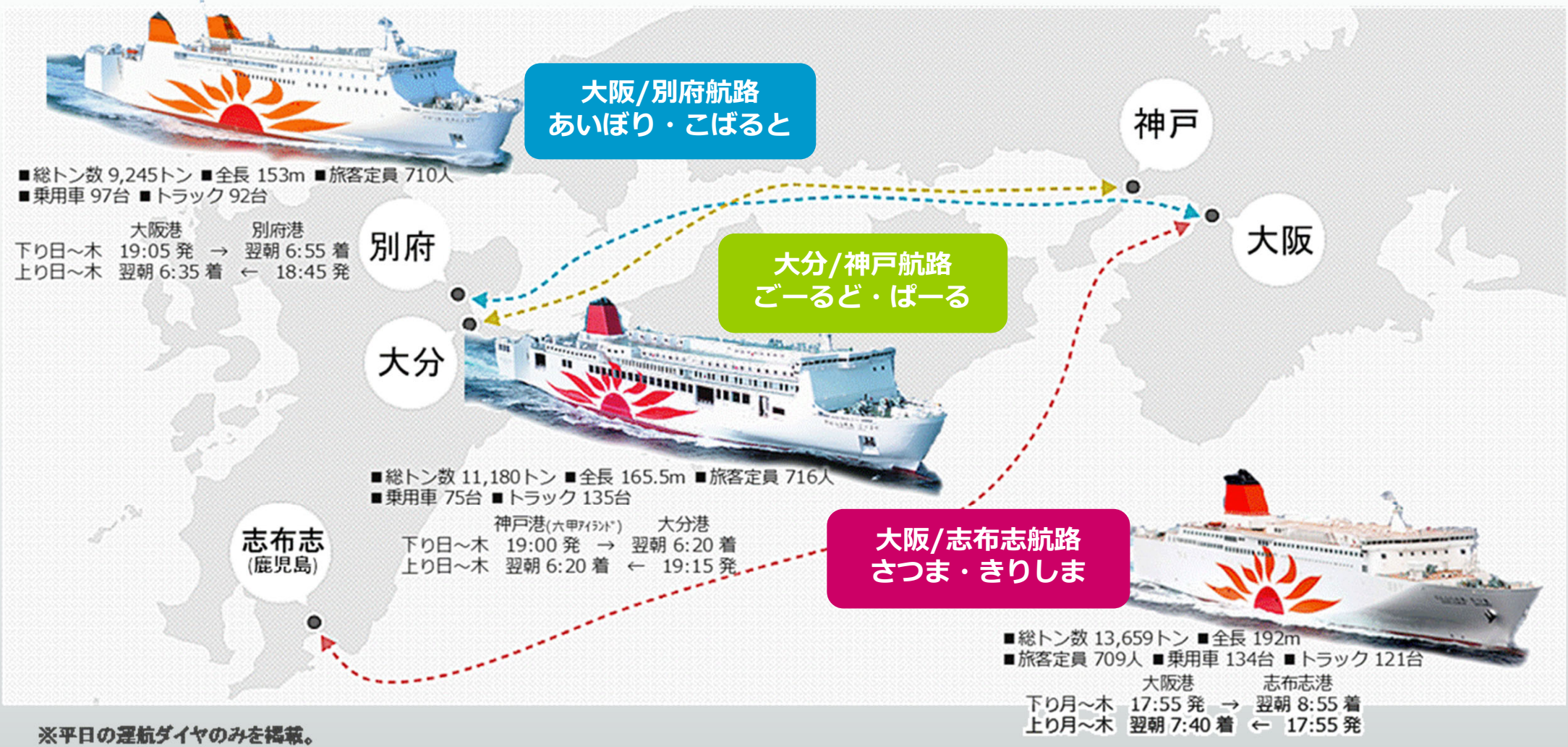
2022年末から2023年前半にかけて 順次就航



フェリーさんふらわあ

# 「フェリーさんふらわあ」サービスの概要

～ 航 路 ～



※平日の運航ダイヤのみを掲載。

## 大阪/別府航路 新造船コンセプト ～カジュアルクルーズとクリーンエネルギーの融合～

### カジュアルクルーズの進化

移動手段としてのフェリーに客船（クルーズ）の要素を取り入れることで、船旅そのものを楽しむことができる**“初めての経験わくわくドキドキさんふらわあのカジュアルクルーズ”**を提唱。  
その具現化として、2018年に大阪/志布志航路に最初のカジュアルクルーズ船2隻を投入。

国内外で高い知名度・人気を誇る観光地別府と大阪を結ぶ当社の基幹航路である大阪/別府航路に、進化したカジュアルクルーズ船を投入。

### モーダルシフト需要への受け皿

大分県が掲げる「九州の東の玄関口としての拠点化戦略」の実現に向け、また、モーダルシフト需要の受け皿として貨物スペースを従来型の1.5倍（13mトラック換算）に拡大。  
物流業界が抱える問題を改善し、地域経済、日本経済の活性化に寄与させる。

### クリーンエネルギー化

国内初のLNG燃料フェリー

- ・SOx(硫黄酸化物)：排出量ほぼゼロ
- ・NOx(窒素酸化物)：IMO3次規制に適合
- ・従来燃料比 二酸化炭素排出量：20%以上削減

環境性と安全性の両立。

顧客を創造し、関西～九州間の人流・物流の動脈として、また環境問題にも取り組み、人々の生活を豊かにし、地方創生に貢献する。

## カジュアルクルーズ進化の2つのテーマ

### ～きずな(KIZUNA)と復活～

別府観光が結び付けた船と旅人の目に見えない「きずな」。100年の歴史の中で親から子へ、そして子から孫へと受け継がれていきました。船と旅客のきずなが今また蘇り、家族のきずなと共に、瀬戸内海の「周遊感」に富んだ船旅の中で融合していきます。

- ① 少子高齢化、或いは核家族化が進む中において、今回の新造船は、世代を超えて家族が船に集い、船旅を楽しむ、そういった家族のつながり（きずな）を再認識する場を提供します。  
シニア層にとっては、新婚旅行で旅した別府への船旅の回帰（復活）、若年層には「弾丸フェリー」を入口とした別府への気軽な船旅。  
ひとり旅の増加傾向にも応えるべく、温泉地の「暖かさ」を船内で演出し、旅客同志の出会いの場、新たな人と人とのつながり（きずな）を生み出す場となる様、多様な旅客のニーズに対応していきます。
- ② 明治45年5月（1912年）、大阪商船（現：商船三井）が大阪/別府航路開設時に就航させ、“海の女王”と絶賛された初代「紅（くれない）丸」、更には昭和35年に豪華な内装から“瀬戸内海の女王”の愛称で親しまれた3代目「くれない丸」、時を経て、別府観光の歴史と共に歩んできた姉妹船「むらさき丸」と共にカジュアルクルーズ船として4代目「くれない丸」3代目「むらさき丸」が復活します。

進化した『さんふらわあのカジュアルクルーズ』でおもてなし

## 大阪/志布志航路にみるカジュアルクルーズ化の効果と大阪/別府航路への期待

### 大阪/志布志航路のカジュアルクルーズ化の効果

- ▶ 旅客数、乗用車数が大幅に増加。
  - ⇒関西、南九州（鹿児島、宮崎）からのお客様が激増。
  - ⇒関東、中部など遠隔地からのお客様が増加。
  - ⇒個室利用のお客様が大幅に増加。
  - ⇒40代のお客様が特に増加。3世代の利用も増加。
  - ⇒カジュアルクルーズそのものを旅の目的にしたお客様が増加。
- ▶大隅地域はもとより、南九州エリアの活性化に大きく寄与。

### 大阪/別府航路への期待

- 別府観光に魅せられる多くの人々（観光者数）
  - 1970年代 600万人超。
  - 2000年代 400万人にまで落ち込む。
  - 2010年代 700～800万人で推移（回復傾向顕著）
- 2018年大阪/志布志航路に就航した「さんふらわあ さつま・きりしま」と連携し、関西・九州周遊旅行が楽しめる。
- 2024年のIR開業予定、2025年に万博の開催を控え、大阪の一層都市整備が進む。とりわけ当社別府船並びに志布志船が着桟する「さんふらわあターミナル(大阪)」は、万博会場予定地（夢洲）の近隣に位置し、両港を結ぶ大阪/別府航路は、旅客を双方向に運ぶ大動脈と足りえる。

## “瀬戸内海の女王”復活

～伝統ある船名の継承～



船名

「さんふらわあ くない」  
「さんふらわあ むらさき」

※船名は仮称

(2022年末、2023年前半就航予定)

### 伝統ある船名の継承



“瀬戸内海の女王”

3代目くない丸(昭和35年)  
戦後の瀬戸内海観光船就航幕開け第一船。  
映画館、理容室等設備、内装をはじめ  
あらゆる面で最高の技術を駆使した、日本を代  
表する客船。



2代目 紅丸(大正13年)



姉妹船  
2代目むらさき丸(昭和35年)



“海の女王”

初代 紅丸(明治45年)  
動くホテルとして旅行客を魅了

# “瀬戸内海の女王”復活

～石炭⇒ディーゼル⇒LNGへ～

ディーゼル船



1924年に就航した「2代目紅丸」。ディーゼルエンジンを搭載し14ノットの快速を誇った。

大阪別府航路  
石炭を焚かぬ  
ディーゼルエンジン装置  
快速力新造船  
紅丸 就航  
おなじみの紫丸と合せて  
二隻交互毎日出帆  
大阪商船株式会社

ディーゼル船



1960年に就航した「3代目くれない丸」。ディーゼルエンジンを搭載し、当時の高速船（18ノット）で昼の瀬戸内海を航行。

石炭焼き船



1912年、大阪商船が別府航路に投入した「紅丸」。

LNG船



2022年から23年にかけて就航予定の「さんふらわあくれない」「さんふらわあむらさき」。新たな瀬戸内海の女王として復活。  
※船名は仮称

## 新旧船舶 スペック比較①

2019.11.20時点

船名	現行船	新造船	現行船比	【ご参考】 2018年就航 大阪/志布志航路 さんふらわあ さつま さんふらわあ きりしま
	さんふらわあ あいぼり さんふらわあ こぼると	さんふらわあ くない さんふらわあ むらさき  ※船名は仮称		
総トン数 (ト)	9,245	17,300		13,659
全長/幅 (m)	153/25	199.9/28		192/27
燃料	重油	LNG/重油 Dual Fuel	168%	重油
内装面積 (㎡)	4,950	8,300	107%	7,000
旅客定員 (人)	710	763	113%	709
個室割合	80%	90%	148%	88%
トラック (台/13m換算)	92	136		121
乗用車	97	100		134

## 新旧船舶 スペック比較②

(現行船) さんふらわあ あいぼり・こぼると	定員	部屋数
デラックス	16名	8室
デラックスシングル	6名	6室
ファースト	96名	24室
スタンダード 1名定員 × 8室 2名定員 × 10室	28名	18室
ツーリストベッド (個室)	72名	18室
ツーリストベッド (相部屋)	164名	16室
ツーリスト	258名	7室
ドライバーズルーム (1名部屋×50室・4名部屋×5室) ※ドライバー室不足により、ツーリストベッド (相部屋)を追加使用している。	70名	55室
<b>合計</b>	<b>710名</b>	<b>152室</b>



新造船	定員	部屋数
スイート	48名	15室
デラックス	125名	39室
デラックス ウィズペット	28名	7室
スーパーリア 1名定員 × 30室 2名定員 × 27室	84名	57室
プライベートベッドグループ (個室)	40名	3室
プライベートベッドシングル	22名	2室
プライベートベッド	256名	16室
ツーリスト	71名	4室
ドライバーズルーム (1名部屋×89室)	89名	89室
<b>合計</b>	<b>763名</b>	<b>232室</b>

2019.11.20時点

## 意匠デザイナーに渡辺友之氏を起用

2018年就航船「さんふらわあさつま・きりしま」の内装デザインや客船「にっぽん丸」の改装時の内装デザインを手掛けた渡辺友之氏（有限会社フラックス・デザイン代表）を起用。大阪/別府航路新造船についても、さんふらわあのカジュアルクルーズを継承。

### 主な特徴

- ◆コネクティングルームを設置 長距離フェリー初となるコネクティングルームを設置。和室と洋室を接続することで3世代でご乗船のお客様に大変便利。
- ◆大浴場、レストランが拡大し、より快適に 大浴場スペースが現行船比約2倍、レストランの席数が現行船比約1.5倍へと拡大。(250席)
- ◆個室を大幅に増やし、各室シャワー・トイレ等の設備を充実
- ◆トラック積載台数が大幅に増加 トラック積載台数が、現行船比1.5倍に拡大(92台⇒136台 トラック13m換算)し、モーダルシフトに対応。ドライバー室は全てシングルルームに。
- ◆定員一人当たりの面積が大幅に拡大 面積が6.9㎡⇒10.9㎡(定員1人当たりの内装面積)に拡大し、よりゆったりとした空間を提供。
- ◆静粛性の向上 最先端の技術やこだわりの設計により今までにない静粛性の向上を目指す。

### 2018年就航船「さんふらわあさつま・きりしま」からの踏襲

#### ●「スイート」「スイート和室」を設定

さんふらわあで初めて設定した「スイート」ルームが大変好評を博しており、大阪/別府航路では「スイート」に加え「スイート和室」を新たに設定。約30㎡の面積を確保し、専用バルコニー付きで瀬戸内の橋や島々が堪能できる。

(スイート12室、スイート和室2室、スイートバリアフリー1室) ※スイートバリアフリーにはバルコニーはございません。

#### ●3層吹き抜けのアトリウムをはじめとした、ゆとりある開放的なパブリックスペース

「さんふらわあさつま・きりしま」で導入した本邦初のプロジェクションマッピングを大阪/別府航路新造船でも採用し、3層吹き抜けのアトリウムでは更にエンターテイメント性を高めたイベントを開催。

#### ●ウィズペットルーム、ドッグランを設置

「さんふらわあさつま・きりしま」で設定したデラックスウィズペットルーム、ドッグランを別府航路でも設定。これでさんふらわあ全船で、ペットと一緒に泊まれる部屋が完成しウィズペットルームを利用した九州縦断旅行が可能になる。(デラックスウィズペットルーム7室)

## 新造船の船内イメージ①

2019.11.20時点



### コネクティングルームのイメージ

- 3世代“きずな” (KIZUNA)を深める長距離フェリー初となるコネクティングルーム（洋室+和室）。
- 日頃は離れている家族が集い、かぞくの“きずな”を再認識する。

## 新造船の船内イメージ②

2019.11.20時点



### レストランのイメージ

- ▶ レストランの席数が現行船比約1.5倍へ拡大（170席⇒250席）。

### 新造船の船内イメージ③

2019.11.20時点



スーペリアシングルルームのイメージ

- ▶ ひとり旅に最適、充実の設備（シャワー、トイレ、洗面台、冷蔵庫）。

## 新造船の船内イメージ④

2019.11.20時点

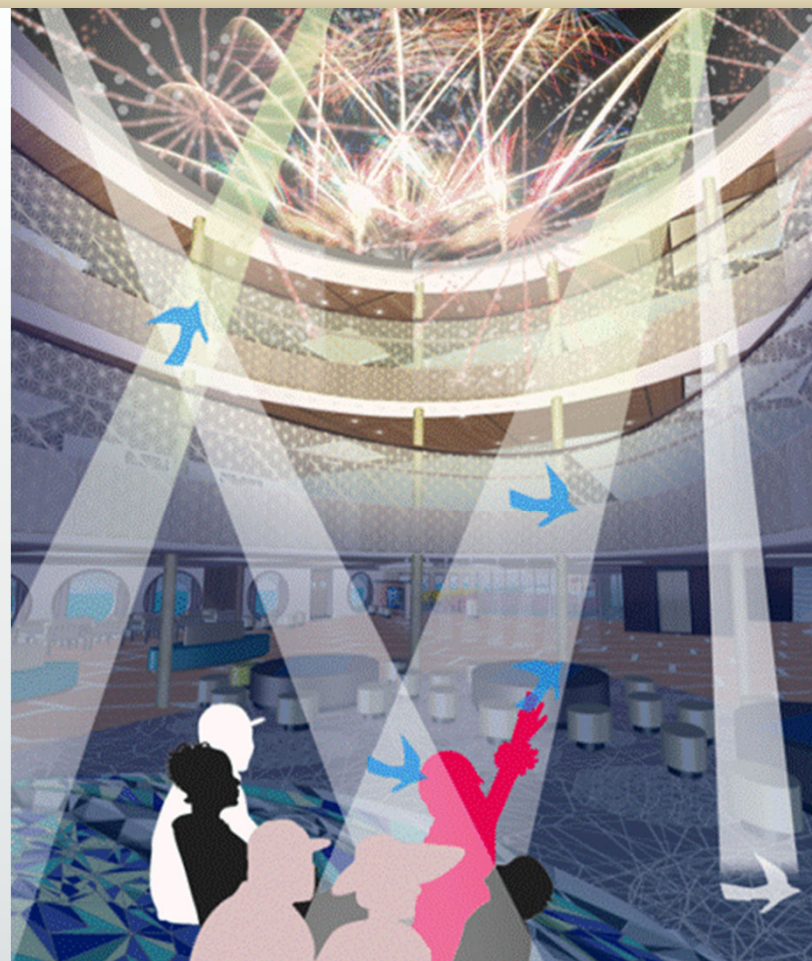


### スイートルームのイメージ

- スイート和室を新たに設定、専用バルコニー付きで瀬戸内の島々が堪能できる。
- スイート12室、スイート和室2室、スイートバリアフリー1室※スイートバリアフリーにはバルコニーはございません。

## 新造船の船内イメージ⑤

2019.11.20時点



### パブリックスペースのイメージ

- パブリックスペースが現行船と比べ大幅に拡大。さらにおしゃれでゆったりとした仕立てに。
- 丸窓を採用し、船上から眺める穏やかな瀬戸内海の旅情を満喫。
- 3層吹き抜けのアトリウムでは船旅を盛り上げる充実したイベントをご用意。またプロジェクションマッピングも採用。
- お子様連れの家族旅行、ひとり旅、夫婦等々、それぞれのすごし方を。

## 新造船の船内イメージ⑥

2019.11.20時点



### デラックスウィズペットルームのイメージ

- デラックスウィズペットルーム7室設定。ペットも家族の一員、ご家族全員そろって船旅を楽しめます。
- ドッグランを併設し、愛犬もストレスなく満喫できます。